

市「アート×サッカー」イベント

手作りボールシュート

子ども30人、新聞紙を活用

八戸

八戸市は「アート×サッカー」をテーマに12日、手作りボールとゴールでサ

ッカーを楽しむイベントを同市のYSアリーナ八戸で行った。参加した子どもたち約30人は、新聞紙やカメラテープを使ったオリジナル

のボールで元気にサッカーを楽しんだ。

イベントは、新美術館整備を進めている同市が、アートの学び事業の一環として行っている「現代芸術教室アートイス」の4回目。

この日は、市から事業を受託している八戸学院地域連携研究センターが、同女子サッカー部とコラボレーションした企画。同大短期大学部幼児保育学科の佐貫巧准教授が講師を務めた。



奥画
NET
東動

子どもたちは、新聞紙を丸めて作ったボールに、カメラテープやマスキングテープを貼り付けて色とりどりのボールを制作。野菜やおにぎりの形をしたユニークなボールが完成した。その後、段ボールでゴールを作り、にぎやかにサッカーを楽しんだ。八戸市の名久井ちなみちゃん(3)は「ボールを蹴ってゴールできて楽しかった」と笑顔を見せた。

新美術館は2021年夏に同市中心街にオープンする予定。

(山谷佳澄)